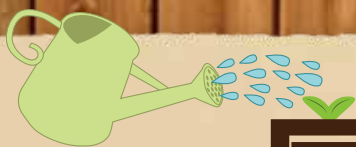


チャレンジ家庭菜園



蕪山営農センター
片山 真秀

ニンジンの栽培

栄養が豊富で緑黄色野菜の代表格ともいえるニンジン。ニンジンに多く含まれているβ-カロテンは免疫力を高める効果や抗酸化作用があり、がんや生活習慣病の予防によいといわれています。夏以降から育てるニンジンは、春に比べると害虫被害なども少ないので夏に種をまき、秋から冬にかけて収穫するのがおすすめです。

畑の準備

種まきの2週間前に苦土石灰、堆肥をまき、25~30cmの深さに耕しましょう。1週間後に化成肥料(苦土FTE入S280号化成など)をまき、土とよく混ぜ、その後畝を作りましょう。肥料などの散布量と畝の幅などは図を参考にしてください。

種まき(筋まき)

畝面をできるだけ平らにしてから幅2~3cm、深さ1cmほどの溝を棒や指などで作ります。

まき溝の中に約1cm間隔で種をまき(筋まき)ます。ニンジンの種は発芽するのに光を必要とし、種の表面に凹凸があり吸水性を下げってしまうので、種まき後は、浅めに土をかぶせ、手やクワの背で軽くおさえ土に密着させましょう。乾燥を

防ぐため切りわらやもみ殻で覆います。(発芽したらわらは取りましょう。)

5~10日で発芽しますが、それまで乾燥しないよう、しっかり水やりをしましょう。

水やり・間引き・追肥・土寄せ

発芽後の水やりは、土が乾いた時にやる程度で構いません。間引きを3回行いましょう。

1回目に株間2cm程度、2回目に株間5cm程度、最終的に本葉5~6枚のころに株間10~12cm程度になるように段階を踏んで間引くとよいでしょう。

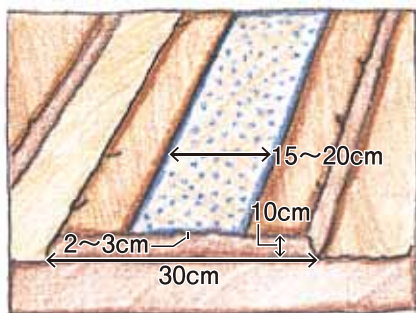
2回目と3回目の間引き後、畝肩に化成肥料を1㎡当たり30gまき、土とよく混ぜながら軽く耕して、苗がグラつかないように株元に土を寄せましょう。

収穫

根元の直径が4~5cmになったら収穫の時期です。種まきから約100~120日ころが目安です。葉を持って片手で地面をおさえ、ゆっくり引き抜くようにして収穫します。

収穫が遅くなりすぎると品質も悪くなるので、収穫する時期には気を付けましょう。

図



畑の準備(10㎡当たり)

堆肥 20kg、苦土石灰 1.5kg
FTE入S280号化成 1kg

おすすめ商品

苦土FTE入 S280号化成 (20kg)

2,613円(税込)

各営農センターで取り扱っています。

畑作専用肥料で、野菜全般・果樹・茶に好適です。総合微量元素入りの化成肥料で、幅広い野菜の元肥・追肥に使用可能です。

